

# 第8回議会改革検討会議要旨

平成29年3月24日（金）  
午前10時00分 委員会室  
（定例報告会終了後）

（開議9：50）

- 1 あいさつ  
委員長
- 2 議 題

（1）議会と住民が対話する場とその工夫について 鈴木達雄委員

※議会改革度調査2015 調査概要（早稲田大学マニフェスト研究所）から一部引用抜粋

- ・議会が住民に説明する場を設けているか。  
全国：設けている 48% 新城市議会は設けている。  
議会報告会、住民説明会、意見交換会等
- ・制度化 議会報告会を議会基本条例で義務づけている。  
全国：21% 新城市議会は義務づけている。
- ・議会報告会に関する議会の悩み。
  - ①参加者の減少と固定化。
  - ②似たようなテーマ設定
  - ③説明責任が増えるため議員がいやがる。
  - ④ワークショップ形式に消極的な議員。
  - ⑤議会の糾弾会になりやすい。
- ・開催方法に関する工夫
  - ①日時 ②テーマ設定 ③グループワーク形式 新城市議会は行っていない。
- ・住民意見における取扱
  - ①ネットで公開 51% 新城市議会は公開している
  - ②次回で報告 15% 新城市議会は行っていない。
  - ③今会議報告 3% 新城市議会は行っていない。

先進事例

- ①可児市議会  
地域課題懇談会 高校生対象ワークショップ  
二元代表制は車の両輪ではダメ。議会見える化の推進・・・議長引継ぎ  
議会運営サイクル、政策サイクルの確立、  
高校生から市長へ意見書の提出。
- ②久慈市議会  
「かだつて会議」、ワークショップ「ワールドカフェ」、  
「女性かだつて会議」議員に女性がいない。  
お菓子を食べながら飲み物を飲みながらの会議・・・自由な意見  
議員がファシリを行っている
- ③滝沢市議会  
「市民議会」「干支議会」：2015年は未年12～72歳
- ④紫波町議会  
自治公民館対象で「手上げ方式」を採用

#### ⑤大分市議会

議会基本条例の中に「市民意見を反映させた政策提言の拡大を図ること」を明記

#### ⑥会津若松市議会

P D C A サイクルの中に都度都度市民と「意見交換」している。  
6つの団体と意見交換会を開き市民意見の聴取を行っている。  
地区別にテーマを設定して意見交換を行っている。

#### 《委員意見》

- ・ 可児市は車のハンドルを市長と議会が持っている。議会として政策に絡めている。
- ・ 市民とともに議会改革を。大事なところは落とさずに。
- ・ 現行の議会報告会は広報広聴が欠落している。議会報告会は形を変えた方が良い。
- ・ 議会報告会は委員会ごとにテーブルを分けテーマを設定して行ってみてはどうか。
- ・ 目的に到達できるか、終わってから委員会で話し合っていく仕組みが大切。
- ・ 議員のファシリテーション能力が課題。
- ・ 議会報告会は基本条例を遵守し現行はこれに基づいて行うべき。変えるところはこの会議で変える。
- ・ 委員会ごとに意見交換に行く。市民に分かりやすい。
- ・ 議会報告会の悩み5点に絞って話合ったらどうか。
- ・ 参加者の固定化：女性・若者が少ないのは議会に興味ない、実感ない、知らない、夜出られない等による。

#### 《委員外意見》

- ・ 他市をまねるような2番煎じではいけない。新城市独自で。
- ・ 議員皆が同じ情報を持っていないとダメ。
- ・ 次の期の方にスムーズに引き渡しできるようスピーディーに改革を。

#### (2) その他

第5回、第6回、第7回の要旨確認について

意見がある場合は29日(水)までに事務局へ。以後ネット公表。・・・異議なし  
次回開催：4月3日(月)午後1時30分、次々回：4月10日(月)午前9時

(閉会 11 : 40)